

## 1. 調査概要・調査結果

### 調査概要

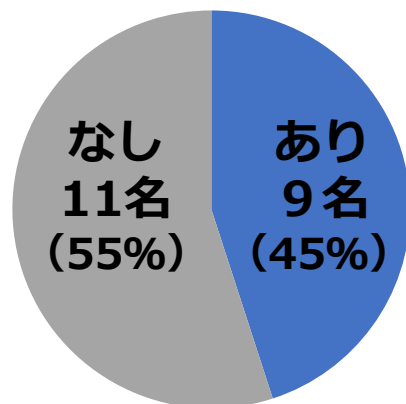
【実施日】 令和7年2月15日（医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修内で実施）

【対象者】 医療的ケア児等コーディネーター（応用研修②修了者）

【人数】 20名（相談支援事業所：17名 放デイ：1名 病院・診療所：2名）

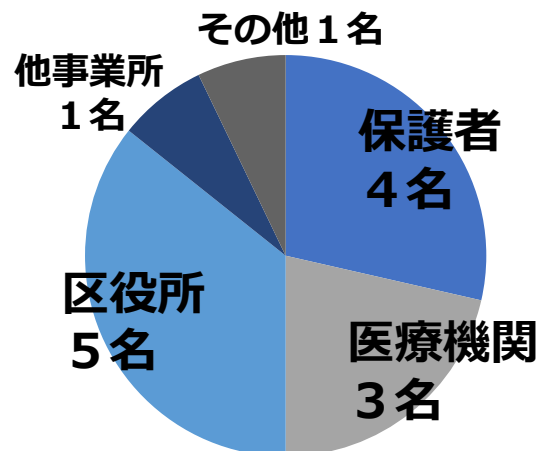
### 調査結果

#### ■ 医療的ケア児の支援経験



#### ■ 支援のきっかけ

※複数回答あり



#### ■ 医療的ケア児とコーディネーターが つながるには？

※複数回答あり

- ・医療的ケア児とコーディネーターをつなぐ仕組みづくりが必要（3名）
- ・保護者や病院、相談支援事業所等へのコーディネーターの周知が必要（3名）
- ・コーディネーター同士のつながりづくりが必要（1名）

■ 医療的ケア児コーディネーターとして活動する際の課題

- ・医療的ケア児が退院する際は保健福祉センターに連絡が入ると思うが、そこからコーディネーターにつながるものが少なく、医療的ケア児とどのようにつながっていけばよいかわからない （2名）
- ・コーディネーターの存在や役割が認知されておらず、多職種連携が進まない （1名）
- ・支援者間や保護者との連携が難しい （3名）
- ・研修を受けただけでスキルアップの場がないため、今後の活動が不安 （2名）
- ・医療的ケア児（特に動ける医療的ケア児）に対応できる事業所が少ない、またその情報が入手しにくい （3名）



2. アンケート結果の分析

課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療的ケア児とコーディネーターがつながっておらず、実際の支援に結び付いていない</li><li>・ コーディネーターが認知されておらず多職種連携が進まない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 区保健師へコーディネーターの役割等を周知し、コーディネーターとの早期のつながりづくりを促す</li><li>・ 医師会やMSW協会等へコーディネーターの役割や配置事業所を周知し、つながりづくりや多職種連携を促進</li><li>・ 医療的ケア児が利用している相談支援事業所のコーディネーター配置状況を調査し、今後の取組を検討</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 多職種連携や保護者への支援が難しい</li><li>・ 支援経験がなく、スキルアップの場がない</li><li>・ 医療的ケア児に対応できる事業所の情報が入手しにくい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ フォローアップ研修内容（事例共有・模擬ケース会議の実施）の充実</li><li>・ フォローアップ研修でのコーディネーター同士のネットワークづくり</li><li>・ コーディネーター関連情報の発信（好事例や対応可能な事業所情報等）</li></ul>

### 3. 令和7年度の主な取組

#### (1) 継続的な取組

- ・ 医療的ケア児等コーディネーター養成研修の実施（R7.8～12頃）
- ・ 医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修の実施（R8.1～2頃）
- ・ コーディネーターの把握調査、アンケートの実施（R8.1頃）
- ・ 大阪市ホームページ「医療的ケア児等コーディネーター配置事業所」の更新（R8.1頃）
- ・ 大阪市ホームページ「医療的ケアに対応可能な事業所」の更新（R7.7、R8.1頃）



#### (2) 新たな取組

- ・ 区保健師を対象とした医療的ケア児等コーディネーターにかかる研修会等の開催
- ・ 医師会やMSW協会等へ医療的ケア児等コーディネーターの役割やコーディネーター配置事業所の周知
- ・ フォローアップ研修等で把握した活動の好事例や医療的ケア児関連の情報について、研修参加者以外のコーディネーター、医療的ケア児やその家族、支援先へ情報発信（例：チラシやSNS等での発信）
- ・ 医療的ケア児が利用している相談支援事業所の医療的ケア児等コーディネーターの配置状況を調査し、今後の取組を検討

